

福島駅前交流・集客拠点施設 整備基本計画策定委員会

【第2回会議】

と き 令和元年5月29日(水)

ところ 福島市役所4階庁議室

目次

1. 第1回委員会の振り返りP3
2. 施設のコンセプト(案)P8
3. 施設の基本的な方向性(案)P9
4. 施設の機能・規模P10

1. 第1回委員会の振り返り

(1) 第1回委員会の内容

1. 委員会の目的・役割
2. 風格ある県都を目指すまちづくり構想
3. 福島駅前交流・集客拠点施設
4. 福島市公共施設の戦略的再編整備
検討委員会等における議論の経過
5. 福島駅東口地区市街地再開発事業(仮称)

1. 第1回委員会の振り返り

(2) 委員会の目的・役割

福島駅前交流・集客拠点施設に関し、2019年度内に施設整備基本計画を策定するため、施設のコンセプトや機能、規模、管理運営、その他必要な事項を検討し、市に助言を行うこと。

1. 第1回委員会の振り返り

(3) 福島駅前交流・集客拠点施設とは

- ・市民生活向上と文化の発展はもとより、**県北全体の定住化・活性化の拠点**となる施設
- ・公会堂の機能及び市民会館の機能の統合化により、**コンベンション機能**を強化し、新たな交流・集客拠点となる施設
- ・福島駅東口地区市街地再開発事業予定地内での整備を目指す、**コンベンションホールや会議室群等**で構成する施設

※本事業で「コンベンション」とは、広義の意味〈MICEと同義であり、団体や企業等の会議(Meeting)、団体等のレセプションや企業等が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議や全国規模の大会・学会等(Convention)、展示会・見本市等のイベント(Event/Exhibition)〉で用いる。

1. 第1回委員会の振り返り

(4) 主なご意見

分類	主なご意見
コンセプト ・ ターゲット	<ul style="list-style-type: none">• ターゲットの設定が重要である。• 県立医科大学に隣接、駅前立地、ホテル併設は大きな強みであり、医学系の学会等を中心に考えても良いのではないか。• 周辺地域の競合施設も考慮し、需要獲得のための戦略が必要。• 文化芸術はこれまでの概念だけでなく、まちづくり等と一緒に考えることが必要。• 駅前通りにあるので、日常利用する方々と、本施設を利用する市民がともに使いやすい施設にして欲しい。• 市外からの誘客も重要だが、市民に馴染みのある場所として利用できるかが重要。• 学生や高齢者等幅広い世代の方に平日も使いやすい工夫が必要。• イベントに活用しやすいスペースにして欲しい。

1. 第1回委員会の振り返り

(4) 主なご意見

分類	主なご意見
施設機能 ・ 施設規模	<ul style="list-style-type: none">仮に一室で1,500～3,000人を収容するには2,000～3,000m²の広さが必要である。また施設の構成としては、大会議場、分科会・展示会場も必要。医学系学会と研究会を同時開催する場合に必要な展示場面積の検討が必要。地元住民が主導して、常時、賑わいを創出できる施設機能の検討が必要。
運営方法	<ul style="list-style-type: none">市民利用や平日利用を高める工夫をし、平日と休日の平準化を図る必要がある。市民利用は、利用料も安くなると思うが、今後税収が減少する中で、税負担のあり方を含めた運営方法の検討が必要。

2. 施設のコンセプト(案)

多様な交流を創出するふくしまコンベンション



立地ポテンシャル
を活かした
選ばれる施設

～コンベンション
機能の強化～

まちの
にぎわいを
生み出す施設

～にぎわい創出
の拠点～

市民による
日常的な利用が
活発な施設

～市民活動の拠点～

3. 施設の基本的な方向性(案)

- ①多様な交流を創出するため、「大ホール」「展示ホール」「会議室群」をバランスよく備えた施設
- ②現有面積(公会堂及び市民会館の合計面積)の11,000㎡程度を想定
- ③本事業の強みを十分に活かした施設
 - ・福島駅前の立地
 - ・民間が整備する宿泊・バンケット、会議室機能等との連携

大ホールのイメージ



展示ホールのイメージ



会議室群のイメージ



4. 施設の機能・規模

(1) 大ホールの機能・規模

大ホールのイメージ



- ・段床式で基本的に固定席のホール。
- ・学会等の基調講演、大規模な大会・集会・式典、コンサート、演劇、各種発表会等に利用。

◆検討事項

①客席の規模について

A案 1,000席以内(中小規模の演劇やコンサート、各種大会等に活用)

B案 1,500席程度(コンサートや各種大会等、多用途に活用可能で興行の損益分岐点)

C案 2,000席以上(メジャーなコンサート等にも活用可能)

※ 可動(変)式客席や昇降可能な壁等を設け、客席の規模を変更できる施設もある

②舞台の規模について

・間口:16~23m、奥行:12~23m、高さ:7~26m

・舞台袖を含む面積:400~1,000m²程度

※ 他市事例を参考

③リハーサル室、練習室、控室、楽屋、ロビー、ホワイエ等について

⇒望ましい室数や規模

⇒会議室との兼用の可能性 など

4. 施設の機能・規模

(2) 展示ホールの機能・規模

展示ホールのイメージ



◆ 検討事項

- ①床面積(1,000～2,000m²程度)について
- ②ホールの分割利用のあり方について
(均等3分分割 や 1/2・1/4・1/4 など)

- ・大型の搬入口を有する柱のない大規模な空間。
- ・見本市、展示会、各種フェア・イベント
- ・大会・集会・レセプション
- ・学会等における分科会、ポスターセッション・協賛企業の機器展示、等に利用。

4. 施設の機能・規模

(3) 会議室群の機能・規模

会議室群のイメージ



- ・収容人数の異なる複数の会議室や研修室。
- ・各種会議・学会等の分科会、小規模な集会・講演会・説明会等に利用。

◆検討事項

- ①必要な室数や面積について
- ②楽屋、控室等との兼用について
- ③ホテル機能との連携(整備分担)方法について

4. 施設の機能・規模

(4) その他の検討事項

- ①市街地再開発事業との連携によるメリットを活かしたホテルバンケットホールでのレセプション開催など、民間との適切な役割分担
- ②市街地再開発事業との関係で、1フロアに確保できる面積や可能な配置
- ③上層階に大ホールや展示ホールを設置する場合、
 - ア)機材搬入作業の負担増等の利用者への影響
 - イ)機材搬入作業用のエレベーターの拡充、避難所としての活用も視野に入れる場合の避難経路確保(広い階段等)のためのコストへの影響

合計面積を11,000㎡で設定した場合の組み合わせパターンの一例

施設の構成・規模	案A	案B	案C
大ホール	1,000席 (1,500~1,800㎡程度)	1,500席 (1,900~2,200㎡程度)	2,000席 (2,300~2,600㎡程度)
展示ホール	2,000席 (2,000㎡程度)	1,500席 (1,500㎡程度)	1,000席 (1,000㎡程度)
会議室群	会議室群 5室 (700席、1,000㎡程度) (民間で別途5室整備を見込む)	左に同じ	左に同じ
リハーサル室	500㎡程度	左に同じ	左に同じ
控室・楽屋			
ロビー、ホワイエ、共用部分 (管理室、廊下、階段、倉庫、エレベーター、トイレ等)	5,700~6,000㎡程度	5,800~6,100㎡程度	5,900~6,200㎡程度
合計面積	11,000㎡	11,000㎡	11,000㎡

※大ホールの面積は客席面積を約1㎡/席で算出

※ロビー、ホワイエ、共用部分の面積は、全体面積の11,000㎡と大ホール等の貸室面積から逆算して算出